

○ 国語科の目標及び学年の目標はどのように改訂されたか。

1 国語科の目標・・・現行指導要領と変更はない。

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

国語科の最も基本的な目標である国語による表現力と理解力とを育成するとともに、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で「伝え合う力」を高めることを位置付けている。また、論理的な思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするとともに、伝統的な言語文化に触れたり、国語の特質を理解したりしながら、国語に対する認識を深めたり国語を尊重したりする態度の育成を位置付けている。

2 各学年の目標

現行では第2学年及び第3学年が、目標と内容を2年間まとめて示していたが、今回の改訂では学年ごとに示している。

* ~~~~~ は、改訂されたところ

領域	学年	新学習指導要領	現行学習指導要領
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	第 一 学 年	目的や場面に応じ、 <u>日常生活にかかわることなど</u> について構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、 ----- 話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。	自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、 ----- 話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
	第 二 学 年	目的や場面に応じ、 <u>社会生活にかかわることなど</u> について立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、 ----- 話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。	自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、 ----- 話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
	第 三 学 年	目的や場面に応じ、 <u>社会生活にかかわることなど</u> について相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、 ----- 話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。	

領域	学年	新学習指導要領	現行学習指導要領
B 書 く こ と	第 一 学 年	目的や意図に応じ、 <u>日常生活にかかわることなど</u> について、構成を考えた的確に書く能力を身に付けさせるとともに、 ----- 進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。	必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、 ----- 進んで書き表そうとする態度を育てる。
	第 二 学 年	目的や意図に応じ、 <u>社会生活にかかわることなど</u> について、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、 ----- 文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。	様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、 -----
	第 三 学 年	目的や意図に応じ、 <u>社会生活にかかわることなど</u> について、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、 ----- 文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。	----- 文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
C 読 む こ と	第 一 学 年	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、 ----- 読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。	様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高めるとともに、 ----- 読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。
	第 二 学 年	目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、 ----- 読書を生活に役立てようとする態度を育てる。	目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、 ----- 読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。
	第 三 学 年	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、 ----- 読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。	